

## 第6回一宮町地域公共交通活性化協議会議事録概要

1 日 時 平成21年10月30日（金）13時30分から14時45分

2 場 所 一宮町保健センター3階多目的室

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 配布資料

- ・第6回一宮町地域公共交通活性化協議会 会議次第
- ・一宮町地域公共交通活性化協議会 第6回協議会資料
- ・先進地の視察について
- ・参考資料：アンケート調査結果

### 5 議事の経過

○事務局 本日の欠席者は、馬淵委員、川上委員、小松委員、運輸局の成田委員、警察の伊藤委員となっております。それでは会長より挨拶をお願い致します。

○会長 本日は、トーニチコンサルタント（以下、トーニチ）にお願いしておりましたアンケートの調査結果がまとまったとのことですので、その内容の説明をしていただきます。その後、一宮町の公共交通の課題と整備方針、ならびに先進地の視察についてという議題となっております。

○事務局 ありがとうございます。それでは、早速本日の議題に入らせていただきます。規約第8条第1項に基づき、会長が議長となり進行いたします。

○会長 はじめにアンケートの調査結果について、トーニチコンサルタントより説明をお願い致します。

○トーニチ （資料説明）

○事務局 補足ですが、参考資料は非公開としましたが、全てが非公開ではなく、p.24（問3(3)の通院先の具体名）とp.32（問5(3)の買物先の具体名）に具体の店舗名や病院名が記載されており、差し障りがあると考え、この2ページだけは非公開とさせていただきます。その他は全て公開という形をとらせていただきます。

○会長 名前が書いてある、ということでしょうか。

○事務局 どこに行っているかという設問で、具体の店舗名や病院名が記載されております。

○会長 ただいまの説明に対して質問のある方はご発言をお願い致します。

○会長 回収率について、当初は何%を予想していたのでしょうか。

○トーニチ 住民アンケートについては、25%ぐらいを予想しておりました。

○会長 随分高い結果になったということでしょうか。

○トーニチ かなり高い回収率となっております。

○事務局 一般的にこのような調査では、回収率は何%ぐらいでしょうか。

- トーニチ 一般的に 20%から 25%となっています。最近は、個人情報保護などによりアンケートの回収率が下がる傾向になっており、場所によっては 20%を切る場所も珍しくありません。
- 会長 先ほどの病院の結果は、何ページに記載されているのでしょうか。
- 事務局 p.24 に記載しており、どこの病院に行っているかという設問の回答結果です。
- 久我委員 全世帯数はいくつでしょうか。
- 事務局 一宮の全世帯数は約 4,700 世帯となっています。
- 久我委員 4,700 世帯のうち 2,000 世帯に配布したということでしょうか。
- 事務局 2,000 世帯を抽出して配布いたしました。
- 久我委員 地区別の世帯数に対する配布部数についての記載はありますでしょうか。新地丙では配布部数が 1 となっていますが、どういうことでしょうか。
- トーニチ これは、一宮町の字別の世帯数に応じて 2,000 通を振り分けた結果となっています。
- 会長 新地丙は、合併などで小さい地区になっております。
- 事務局 大字別に分けると、甲、丙と細かい区分となりますが、一般的には船頭給地区、新地地区の 2 地区で区分をしています。そのため、集計結果は船頭給地区、新地地区にまとめて集計したほうが適切だったと考えております。
- 久我委員 地区別の回収率は、なかなかよい数字となっていますね。
- トーニチ その通りです。
- 会長 議題 1 は採決事項ではありませんので、続いて一宮町の公共交通の課題と整備方針に移ります。引き続きトーニチコンサルタントより説明をお願い致します。
- トーニチ (資料説明)
- 会長 ただいまの説明に対してご質問のある方はご発言をお願い致します。
- 佐藤委員 p.26 の(4) 鉄道駅のアクセスについて、駅周辺に駐車場や駐輪場が少なく、とありますが、公共性のあるという意味か、それとも現在ある月極めの施設を意味しているのでしょうか。

- トーニチ 公共性のある施設に対する一時利用が、どれだけあるかは明らかになっていないので精査が必要です。駐車場や駐輪場が少ないという書き方は問題ですが、アンケート調査において、駅までの自動車利用が多いことが明らかとなっているため、現在の施設で十分なのか否かを検討したうえで、足りなければ何らかの施策を考えていくことになります。今回は公共交通の議論ですので、駐車場や駐輪場の整備が公共交通の施策の中にどこまで入ってくるかはありますが、このようなことを一度検証した上で、通勤・通学時の送迎で利用できる施設が十分かどうかを把握する必要がありますと考えています。
- 会長 にここにサービスの認知度が低い結果となっていますが、担当課長の矢野委員、どうでしょうか。町長になるまで、ここにサービスの存在を知りませんでした。
- 矢野委員 ある程度対象を限定しているため、このような結果になったのではないのでしょうか。
- 森委員 にここにサービスの利用者は、民生委員に一任されているからでしょうか。
- 矢野委員 その通りです。ただアンケートのここにサービスの説明の中で、買物時でも利用可能とありますが、実際は通院に限って実施しております。
- 会長 駅に行けるのも通院のためということですか。
- 矢野委員 その通りです。
- 志田委員 中には通院のついでに買物をする方がいらっしゃるということですか。
- 矢野委員 公的には買物は認めていません。
- 志田委員 駅まで行って茂原の病院まで行くのだが、買物で利用してしまう人がいるということですね。
- 石尾委員 にここにサービスは事前予約が必要となり、突発的な病気には対応できないということですか。
- 久我委員 救急車があります。
- 石尾委員 そうではありません。救急車まで必要としない風邪などの病気という意味です。
- 志田委員 事前予約や利用回数が限られていることから、利用したいときに利用できない可能性が出てきます。それよりも「連れて行って」という要望に対応できるような地域のコミュニティを構築できればよいのではないのでしょうか。難しい問題ですが、ここにサービスをもう少し再考いただければ、改善すると思います。

- 石尾委員 アンケート結果、課題と問題点を指摘されていますが、今後どのようにプランニングしていくというのがみえないのですが、そのへんはどのように考えていますか。
- トーニチ 詳細な方向性は書いておりませんが、それぞれに不便を感じている方の比率がわかりますので、実際にどれくらいの方が不便を感じているのかを算出することを考えています。そして、どの地区に何人くらい不便を感じている方がいらっしゃるかがわかりますと、おのずと需要と供給のバランスがみえてきますので、そこからどのような交通システムが有効なのか、採算がどれくらいとれるのかが明らかになってきます。よって、どこに何人の方が不便を感じているかを算出し、具体的なシステムとしてどういったものが考えられるか、にここサービスで対応できるのかできないのかを、今後検証していきたいと考えています。
- 会長 それはこれからの作業ということでしょうか。
- トーニチ その通りです。
- 事務局 次回にやることをお話できますか。
- トーニチ 現在の協議会の開催スケジュールからいくと、次回までに、どれぐらいの需要があり、どのようなシステムが向いているのかを示さないと先に進むことができませんので、先ほど申し上げた内容を次回までにお出しするようにいたします。
- 会長 事務局では、次回はいつ頃を予定しているか。
- 事務局 12月早々を予定しています。
- 会長 了解しました。他にご意見、ご質問がないようでしたら、方針につきまして採決に入ります。今、討議した内容で今後進めていくことで、ご異議ございませんでしょうか。
- 一同 異議なし
- 会長 それでは次に進みます。議題3の先進地の視察について、トーニチコンサルタントより説明をお願い致します。
- トーニチ (資料説明)
- 会長 ただいまの説明に対してご質問のある方はご発言をお願い致します。
- 斉田委員 酒々井町と芝山町の事例をご紹介いただいておりますが、前段として、どれくらい運行経費がかかり、どれくらい町が補助をしているのか、お分かりになりますでしょうか。見に行ったとして、実際はものすごい経費がかかり、一宮町では対応できないものであれば、見に行っても仕様がないと思うので、それを先に調べてみてはどうでしょうか。
- トーニチ 芝山町については現在調査中ですが、酒々井町についてはある程度のデータを持っております。

- 事務局 酒々井町については、支出が 26,988,000 円、収入が 15,331,000 円、町の負担が差し引き 11,657,000 円となっています。これは 19 年度の数値となっています。
- 久我委員 この資料には、八日市場と八街が入っていません。この 2 つの事例は、バスが存続できなく撤退したところであり、市の政策において採算は度外視して、活性化のためにバスを走らせた事例です。町の中にバスを巡回させておかないと地域が崩れてしまうという中で、この 2 つの事例は導入の目的を明らかにした事例です。酒々井町については、ある程度千葉市に近いので人口が多いのではないかと思います。芝山町については、成田空港の関連ですが、酒々井町は一宮町と条件が違うのではないのでしょうか。八街は 4 ルートあり、バスからバスへの乗り継ぎも考慮されています。八日市場も山の中を走っている状況ですので、この 2 つの事例についても検討されてはいかがでしょうか。支出については、バス一台走らせれば大体の相場はわかります。収支を考えると何もできなくなってしまうので、町のやる気の問題として、福祉の一環のつもりで行うのか、うまくいかなければ実証実験を止めてしまえばよいのか、自治体の姿勢が伝わるような事例がよろしいのではないのでしょうか。
- 事務局 芝山町のあいあいタクシーについて、H19 年度のデータで支出が 21,410,000 円、収入が 1,644,000 円、町の負担が 19,766,000 円となっています。こちらのデータは県の交通計画課のデータです。
- 久我委員 芝山町は 2 台走らせていますね。
- 事務局 その通りです。
- 久我委員 大体一台 1,000 万円が相場になっています。
- トーニチ 事例を選定するにあたり、一宮町の公共交通については、この 2 つの事例をそのまま真似をすることは考えておりません。なぜならこの 2 つの事例は運行経費がかかりすぎており、これから検討していく話になりますが、一宮町の財政状況から見るとこれらの事例を真似することは現実的ではないという意識を持っております。ただこれらのシステムは、見るべき部分があると思いますので、システムは参考にしますが、何でも真似をするような発想はありません。
- 久我委員 もう一点あるのですが、他の地区に行くことについて、コミュニティの限度を超えてしまっており、一宮町のサービスが茂原市へ行くということがこの場で議論することでしょうか。また、茂原市へいく場合距離も伸びてしまいますので、一宮町内を満遍なく回るという考え方と少し違うのではないのでしょうか。

- 会長 酒々井町の場合は、地域の拠点病院である日赤成田病院に限っていますので、仮に一宮町で町外へ行く場合、一般病院で対応できないサービスを提供している長生病院だけになります。
- 佐藤委員 この2つの事例はとてもよく似ていると思いますので、どちらか1つとタイプの違う事例がよいのではないのでしょうか。
- 事務局 予定として委員の皆様には視察に行ってもらう時期は、11月中あるいは12月上旬になる見込みです。後日連絡をいたします。事例については、先ほどの意見を踏まえ事務局とトーニチコンサルタントで研究させていただき、視察場所も決定させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。
- 一同 異議なし
- 会長 それではこのように進めていただきます。本日の議題は全て終了致しました。  
(挨拶)
- 事務局 次回の協議会は12月早々を予定しておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

以上